

2026年4月13日

各位

会社名 株式会社ベクターホールディングス
代表者 代表取締役社長 岩井 美和子
(コード番号: 2656)
問合せ先 取締役 吉田 修
(TEL 03-6304-5207)

通期連結業績予想の修正並びに営業外費用及び特別損益の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年11月14日に公表しておりました通期連結業績予想を修正することを決議するとともに、営業外費用及び特別損益を計上する見通しとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	101	△521	△551	△548	円 銭 △27.33
今回修正予想 (B)	156	△601	△669	△632	円 銭 △26.49
増減額 (B-A)	55	△80	△118	△84	—
増減率 (%)	54.45	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	162	△574	△566	△779	円 銭 △39.27

2. 修正の理由

- (1) 売上高につきましては、2026年3月16日付「高性能サーバーレンタル事業の受注に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社の所有する高性能サーバーの演算リソースのレンタル料の一部が計上されたこと等が主な要因で、業績予想を上方修正することとなりました。
- (2) 営業利益につきましては、高性能サーバーのレンタル事業を行うにあたり、当該サーバーの設置及び検証に係る費用等が当初の想定より増加したこと、2025年7月に発行いたしましたストッ

クオブションに係る会計上の費用を計上したこと等が主な要因で、上記業績予想値となりました。

(3) 経常利益につきましては、上記に加え、2026年3月に実施した第三者割当増資に係る株式交付費用が発生したこと、長期預け金の貸倒損失を計上したこと等が主な要因で、上記業績予想値となりました。

(4) 親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、短期貸付金に対する貸倒引当金の内、貸倒引当金戻入額を計上したこと、無形固定資産の減損損失を計上したこと等が主な要因で、上記業績予想値となりました。

※営業外費用及び特別損益につきましては次のとおりです。

3. 営業外費用の計上について

当社の2023年の取組みとして、ブロックチェーンゲームプラットフォームを運営する「YGG Japan」との協業を目的に支出した長期預け金8百万円について、回収可能性を検討した結果、貸倒損失として営業外費用に計上することといたしました。

4. 特別損益の計上について

2025年5月15日付「特別損失の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました、サステナブル投融資資金として拠出したITプランテーション事業への短期貸付金200百万円の内、貸倒引当金組入額として特別損失に計上しておりました100百万円について、回収が順調に進んでいることから、当該引当金100百万円の内60百万円を貸倒引当金戻入額として特別利益に計上することといたしました。

また、既存サーバーの老朽化に伴うクラウドサービスへの移行に係る費用10百万円及び既存サービスに係るシステム開発費15百万円の無形固定資産について、評価を検討した結果、減損損失として特別損失に計上することといたしました。

(注) 上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上